



Cisco Emergency Responder 8.6 ユーザ ガイド

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

免責条項 / 通告

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

お客様は、Cisco Emergency Responder を正しく設定するすべての責任を負います。シスコは、ユーザーが Cisco Emergency Responder に接続できない状況 (Public Safety Answering Point にアクセスできない場合を含む) または Emergency Service Responder がユーザーの所在地を特定できない状況が原因で、あるいはそのような状況に関連して発生するあらゆる責務を放棄します。シスコはすべてのお客様に対して、最初の設定の直後に Cisco Emergency Responder の設定を確認およびテストし、その後も定期的に確認およびテストを実施することを強く推奨します。また、緊急コール用のオーディオパスが使用できるように、トランクおよび帯域幅の適切な容量を用意することも推奨します。

いかなる場合においても、シスコおよびそのサプライヤは、この製品の使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはそのサプライヤに知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

Cisco Emergency Responder ユーザーガイド 8.6

Copyright © 2011 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2011–2012, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

| | |
|-------------------------|-----|
| はじめに | v |
| 概要 | v |
| 対象読者 | v |
| マニュアルの構成 | vi |
| マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート | vi |
| シスコ製品のセキュリティ | vi |
| 通知 | vii |

CHAPTER 1

| | |
|---|------------|
| Cisco Emergency Responder の使用 | 1-1 |
| Cisco Emergency Responder User Web インターフェイスへのアクセス | 1-2 |
| 緊急コール時に発生する状況の概要 | 1-3 |
| 緊急コールの確認応答 | 1-4 |
| 緊急コールに関する詳細情報の取得 | 1-5 |
| 電話検索の使用 | 1-7 |
| 緊急コールの履歴の表示 | 1-9 |
| アクセンビリティ機能の使用 | 1-11 |

APPENDIX A

| | |
|--|------------|
| Cisco Emergency Responder の User Web インターフェイス | A-1 |
| コール履歴 | A-1 |
| Emergency Call Alert | A-4 |
| Locate Phone by Extension | A-5 |



はじめに

この項では、このマニュアルの対象読者および構成について説明します。
また、次のトピックについて取り上げます。

- 「概要」 (P.v)
- 「対象読者」 (P.v)
- 「マニュアルの構成」 (P.vi)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.vi)
- 「シスコ製品のセキュリティ」 (P.vi)
- 「通知」 (P.vii)

概要

『Cisco Emergency Responder 8.6 ユーザガイド』には、Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) 8.6 を使用するために必要な情報が記載されています。

対象読者

セキュリティ担当者は、Emergency Responder User Web インターフェイスの実行に必要な作業を理解し、その機能を習得するためにこのガイドを読む必要があります。

マニュアルの構成

次の表にこのマニュアルの構成を示します。

| トピック | 説明 |
|--|--|
| 第 1 章 「Cisco Emergency Responder の使用」 | Emergency Responder の展開に関する情報を提供し、オンサイト セキュリティ担当者が行う作業について説明します。 |
| 付録 A 「Cisco Emergency Responder の User Web インターフェイス」 | Emergency Responder User Web インターフェイスの各ページのフィールドについて説明します。 |

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

通知

This product includes software developed by Justin Wells and Semiotek Inc. for use in the WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>).

You may use WebMacro for use under the GNU General Public License. You may also use WebMacro under the terms of the Semiotek Public License. The terms of the Semiotek Public License are as follows:

Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000 Semiotek Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by Justin Wells and Semiotek Inc. for use in the WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>)."
4. The names "Semiotek Inc." and "WebMacro" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact justin@webmacro.org
5. Products derived from this software may not be called "WebMacro" nor may "WebMacro" appear in their names without prior written permission of Justin Wells.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by Justin Wells and Semiotek Inc. for use in the WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>)."

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY SEMIOTEK INC. "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL SEMIOTEK INC. OR ITS

CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



CHAPTER 1

Cisco Emergency Responder の使用

Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) は、緊急事態に迅速かつ効率的に対処するために役立つ緊急通信システムです。電話網内の誰かが緊急コールをかけると、Emergency Responder から自動的に通知され、通報はその地域の緊急応答機関 (PSAP) のオペレータにルーティングされます。

Emergency Responder が提供する内線番号を使用すると、Emergency Responder User Web インターフェイスを通じて、発信者の所在地を調べることができます。発信者の所在地がわかると、緊急事態が発生した現場に向かったり、支援を送ったり、会社の緊急応答ポリシーの要件を完了したりできます。

また、Emergency Responder には受信した緊急コールの記録が保守されるため、後でその情報を利用できます。

ここでは、Emergency Responder の使用方法について説明します。

- 「[Cisco Emergency Responder User Web インターフェイスへのアクセス](#)」 (P.1-2)
- 「[緊急コール時に発生する状況の概要](#)」 (P.1-3)
- 「[緊急コールの確認応答](#)」 (P.1-4)
- 「[緊急コールに関する詳細情報の取得](#)」 (P.1-5)
- 「[電話検索の使用](#)」 (P.1-7)
- 「[緊急コールの履歴の表示](#)」 (P.1-9)
- 「[緊急コール時に発生する状況の概要](#)」 (P.1-3)

Cisco Emergency Responder User Web インターフェイスへのアクセス

Web で警告を表示し、緊急コールに関する詳細情報を取得するには、Emergency Responder にサインインする必要があります。

Emergency Responder User Web インターフェイスにサインインするには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** ブラウザのアドレスフィールドに、管理者から指定された URL を入力します。Emergency Responder の web インターフェイスのメイン画面が表示されます。
- ステップ 2** [Navigation] プルダウン メニューから [Cisco ER User] を選択し、[Go] をクリックします。
- [Cisco Emergency Responder User Login] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ユーザ名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。ログインに問題がある場合、ユーザ名とパスワードについて管理者に確認してください。
- [Emergency Call Alert] ウィンドウが表示されます。
- 任意のウィンドウから Emergency Responder User Web インターフェイスを終了するには、画面の上部にある [Logout] リンクをクリックします。
-



ヒント

Emergency Responder User Web ページの機能の使用方法に関するヘルプは、[Help] > [Help for this Screen] を選択します。

緊急コール時に発生する状況の概要

ここでは、誰かが緊急コールをかけたときに発生する状況の概要について説明します。

- 誰かが緊急コールをかけます。
- Emergency Responder でコールが受信され、その地域の緊急応答機関 (PSAP) に転送されます。
- 同時に、Emergency Responder からセキュリティ担当者の電話に着信があり、緊急コールが発信されたことが通知され、発信者の内線番号が提供されます。管理者がシステムを設定した方法によっては、発信者の内線番号、Emergency Response Location (ERL) 名、および緊急コールの時間を含む電子メール メッセージや電子メール ページを受信することもできます。
- 緊急コールに関する情報は、[Emergency Call Alert] ウィンドウにも表示されます。この情報には、緊急コールの日時、発信者の内線番号、ERL 名、および電話の場所が含まれます。ERL の詳細な実際の住所やポート名など、発信者の所在地に関するその他の詳細情報は、コール レコードをクリックすると表示されます (ポート名は、特定ポートのスイッチについて設定できます)。



(注) Emergency Responder では、自動的に追跡された電話についてのみ、ポート名が表示されます。

- 発信者の所在地を特定すると、会社の緊急応答ポリシーに従ってコールに応答できます。
- 発信者が緊急コールをかけると、Emergency Responder は [Emergency Call Alert] ページをただちに更新します。何らかの理由で Emergency Responder のリアルタイムの更新が失敗した場合 (一時的にサーバに接続していないなどの理由)、[Emergency Call Alert] ページは 30 秒後に更新されます。



(注) Emergency Responder から提供されるのは発信者の内線番号のみです。実際の緊急コールを聞くことはできません。

緊急コールの確認応答

緊急コールの確認応答について説明します。

- セキュリティ担当者は、緊急コールの代理として、会社の緊急応答ポリシーに従って行動する役割があります。
- セキュリティ担当者は、ポリシーに従い、発信者の実際の所在地に向かう必要があるか、電話で緊急状況をモニタする必要があるかを把握します。
- セキュリティ担当者がコールを確認応答すると、Emergency Responder のシステム内には確認応答されたコールが 24 時間維持されます。24 時間が経過すると、セキュリティ担当者の [Emergency Call Alert] ページリストからそのコールが削除され、セキュリティ担当者の [Emergency Call Alert] ページとシステムのオンサイト警告担当者の [Emergency Call Alert] ページからエントリが削除されます。



(注) 確認応答されていないコールは、赤のリンクで示されます。確認応答されたコールは黒のリンクで示されます。



(注) Emergency Responder User Web インターフェイスに対するアクセス権を持つすべてのセキュリティ担当者（オンサイト警告担当者）には、[Emergency Call Alert] ページに同じ緊急コールが表示されます。コールを確認応答すると、Emergency Responder によってリストからコールが削除されます。

コールレコードが [Emergency Call Alert] ページから削除されても、そのコールに関する情報は Emergency Responder に保存されます。確認応答した後に緊急コールに関する情報を確認するには、コール履歴を表示します（コール履歴の表示方法については、「[緊急コールの履歴の表示](#)」(P.1-9) を参照してください)。また、電話の内線番号を調べて、発信者の所在地に関する詳細情報を表示することもできます（発信者の所在地に関する詳細情報の表示については、「[緊急コールに関する詳細情報の取得](#)」(P.1-5) を参照してください)。

はじめる前に

この手順では、Emergency Responder にログインし、[Emergency Call Alert] ページが表示されていることを想定しています。

Emergency Responder へのログイン手順については、
「[Cisco Emergency Responder User Web インターフェイスへのアクセス](#)
(P.1-2) を参照してください。

Emergency Responder User Web サイトの任意のページから [Emergency Call Alert] ページを表示するには、[Web Alert] を選択します。

緊急コールを確認応答し、リストから緊急コールを削除するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 [Emergency Call Alert] ページで、確認応答する緊急コールの [ACKNOWLEDGE] をクリックします。

メッセージが表示され、確認応答の確定が求められます。

ステップ 2 [OK] をクリックします。

この [Emergency Call Alert] ページと、システムの各オンサイト警告担当者の [Emergency Call Alert] ページが更新され、確認応答したコールが削除されます。

緊急コールに関する詳細情報の取得

緊急コールに応答するには、[Emergency Call Alert] ページに表示されている以外の情報が必要になったり、警察や他の緊急状況担当者に対する詳細情報の提供が必要になることがあります（「[緊急コールの履歴の表示](#)」(P.1-9) を参照してください）。

緊急コールに関する詳細情報を確認するには、[Emergency Call Alert] ページでそのコール レコードをクリックします。

住所や 3 桁のエリア コードなど、表示する情報は、システム管理者がシステムを設定した方法によって変わります。この詳細情報は、PSAP オペレータに表示される詳細情報と同じです。

また、詳細情報には発信者の正確な所在地について記載されていない可能性もありますが、緊急コールの発信元地域は記載されます。この詳細情報が緊急コールの発信者の所在地を特定するために役立たない場合、システム管理者に相談してください。

表 1-1 では、[Emergency Call Alert] ページのコール レコードをクリックしたときに表示されるフィールドについて説明します。

表 1-1 緊急応答の場所フィールド

| フィールド名 | 説明 |
|---------------------|--|
| ERL Name | そのコールの場所についてシステム管理者が設定したゾーン名。 |
| House Number | 建物の所在番地の数値（170 West Tasman 通りの 170 など）。 |
| House Number Suffix | ある場合は、House Number の枝番号（/2 など）。 |
| Street Name | 建物の住所の通りの名前。 |
| Street Suffix | 通りの種類（大通りを示す AV など）。 |
| Prefix Directional | 通りの名前の先頭に方向の記号が含まれる場合はその記号（北を示す N など）。 |
| Post Directional | 通りの名前の末尾に方向の記号が含まれる場合はその記号（北を示す N など）。 |
| Community Name | 住所のコミュニティ名（市、町、地域の名前など）。 |
| State | 2 文字の州の略称。 |
| Main NPA | 発信番号に関連付けられているメイン番号の 3 桁のエリアコード。 |
| Customer Name | ERL に関連付けられているサブスクライバ名。通常はユーザの会社名。 |
| Class of Service | ERL のサービス クラス。 |
| Type of Service | ERL のサービスの種類。 |
| Exchange | その電話を提供する電話オフィスの Local Exchange Carrier（LEC; 地域通信事業者）の交換識別子。 |
| Main Telephone No. | ERL に関連付けられているメインの電話番号（ERL のセキュリティオフィスの番号）。 |
| Order Number | このレコードを確立または更新するアクティビティのサービス受付番号。 |
| Extract Date | レコードが作成される日付。 |

表 1-1 緊急応答の場所フィールド（続き）

| フィールド名 | 説明 |
|--------------------|--|
| County ID | ゾーンの郡の識別コード（米国では、米国国勢調査局によって郡に割り当てられている連邦情報処理標準（FIPS））。 |
| Company ID | National Emergency Number Association（NENA）が登録した、ユーザの会社の識別コード。 |
| Zip Code | 住所の郵便番号。 |
| Zip Code Extension | 郵便番号と 4 桁の番号。 |
| Customer Code | 顧客コード。自分のコードがわからない場合、サービス プロバイダーから入手します。 |
| Comments | オプションのコメント。この ERL から緊急コールが発信された場合、PSAP に表示されることがあります。 |
| Longitude | ERL の経度。 |
| Latitude | ERL の緯度。 |
| Elevation | ERL の標高。 |
| TAR Code | Taxing Area Rate（TAR）コード。 |
| Location | 電話の正確な場所を特定するために役立つ、自由形式の追加の場所情報。 たとえば、このページで複数のフィールドに定義されている住所をここに記載することもできます。 |

電話検索の使用

[Emergency Call Alert] ページに表示されなくなった後に、コールに関する場所の詳細情報を確認する必要がある場合、内線番号を調べるには電話検索を使用します。発信者の内線番号がわからない場合、[Call History] ページで探すことができます。コール履歴を表示する方法については、「[緊急コールの履歴の表示](#)」(P.1-9) を参照してください。



(注)

E.164 ダイアルプランのユーザが電話検索を行うには、正確な 10 桁の番号を入力する必要があります。

電話検索を実行するには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** メインメニューから [Phone Search] を選択します。
[Locate Phone by Extension] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Phone Extension] フィールドに、詳細情報を確認する発信者の内線番号を入力し、[Find] をクリックします。
発信者に関する詳細情報が画面の下部に表示されます。
- 表 1-1 では、電話の内線番号を調べるときに表示されるフィールドについて説明します。
- [Emergency Call Alert] ページに戻るには、メインメニューの [Web Alert] を選択します。
-



ヒント

- Emergency Responder サーバの起動直後に緊急コールがかかってきた場合、発信者の所在地の詳細情報がすぐに使用できないことがあります。この場合、発信者の内線番号を使用した電話検索の結果、「No matching phone for the given extension」というメッセージが表示されます。
 - 発信者は、ある Emergency Response Location (ERL) から緊急コールをかけた直後に、別の ERL に移動する可能性があります。Emergency Responder にこの移動が登録されてから、電話検索機能を使用した場合、電話検索画面には、発信者の 2 番目の ERL の場所に関する詳細情報が表示されます。
 - 内線番号を共有する電話の場所の詳細情報を表示する場合、電話検索画面には、その内線番号のすべての電話に関する詳細情報が表示されます。検索を絞り込むには、[Select a phone to view details] をクリックします。[Last Time of Emergency Call] フィールドに基づいて詳細情報を表示する電話を選択します。
-

緊急コールの履歴の表示

Emergency Responder には、緊急コールの過去 10,000 件の履歴レコードが維持されています。

場合によっては、法執行機関や他の緊急応答担当者に最近のコール履歴情報を提供する必要があります。また、この情報はレポートの目的にも使用されます。たとえば、特定の時間に受信する平均的な数の緊急コールに対応するために、十分なセキュリティ担当者（オンサイトの警告担当者）がいるかどうかを会社が判断する場合などです。

緊急コールの履歴を維持することで、特定の日付、特定の発信者、またはコールを説明する特定のキーワードに基づいて、緊急コールの発信数の詳細を表示できます。また、コールレコードの [Comments] フィールドにアクセスして、緊急状況の特性、対処内容など、緊急コールについてその他の情報を入力または表示することもできます。

コール履歴を表示するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 メインメニューから [Call History] を選択します。

[Call History] ページが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウンリストとテキストフィールドを使用して、そのコールの検索条件を入力します。条件を追加するには [More] をクリックし、最後に追加した条件を削除するには [Fewer] をクリックします。



(注) 複数の条件を指定する場合、条件のすべてを満たす必要があるか、いずれかを満たす必要があるかを選択します。たとえば、7月6日にサンホセの会社のオフィスから発信されたすべての医療緊急コールを表示する場合、条件は次のようになります。

すべての条件を満たし、[Date] が **2003/07/06** で、[ERL Name] が **SanJose Building** に完全一致し、[Comments] に医療が含まれるコールの詳細情報を検索します。

■ 緊急コールの履歴の表示

ステップ 3 [Find] をクリックします。

指定した検索条件を満たすコールに関する情報が表示されます。

1 つの画面に収まらない情報がある場合、Emergency Responder ではコールの表示に複数ページが使用されます。

その他の情報を表示するには、リンクをクリックするか、[Page] フィールドにページ番号を入力して [Page] リンクをクリックします。

ステップ 4 緊急コールに関するコメントを入力または変更するには、そのコール レコードの [Comments] フィールドの [edit] リンクをクリックします。[Call Details] ページが表示されます。

[Call Details] 画面の [Comments about the call] フィールドにコメントが表示されます。

- コメントがフィールドよりも長い場合、コンピュータ キーボードの左右の矢印キーを使用してコメントをスクロールします。
- コメントを追加または変更するには、情報を入力して [Update] をクリックします。
- コメントを最後に保存した値に戻すには、[Reset] をクリックします。

ステップ 5 [Close] をクリックして [Call Details] を閉じます。

表 1-2 では、緊急コールの履歴を表示するときに表示されるフィールドについて説明します。

表 1-2 [Call History] のフィールド

| フィールド名 | 説明 |
|--------------------|--|
| ERL Name | そのコールの場所についてシステム管理者が設定したゾーン名。 |
| Caller's Extension | 緊急コールが発信される内線番号。 |
| Time | 緊急コールが発信される時刻。 |
| Date | 緊急コールが発信される日付。 |
| ELIN Used | 緊急コールが切れた場合に、PSAP オペレータが緊急コールの発信者に連絡するために使用するコールバック番号。 |

表 1-2 [Call History] のフィールド (続き)

| フィールド名 | 説明 |
|-------------------|---|
| Location | 電話の場所。電話が手動で設定されるか、スイッチポートまたは IP サブネットに基づいて設定されるかによって変わります。 |
| Call Acknowledged | [Web Alert] ページ上のコールの確認応答ステータス。 |
| Acknowledged By | コールを確認応答したユーザの ID。 |
| Time Acknowledged | コールが確認応答される時刻。 |
| Date Acknowledged | コールが確認応答される日付。 |
| Comments | コールに関するコメントを入力できる [edit] リンクを含むフィールド。コメントの入力の詳細については、 ステップ 4 を参照してください。 |



ヒント

Emergency Responder には、緊急コールの過去 10,000 件の履歴レコードが維持されています。以前の緊急コールについてコールの詳細情報を取得する必要がある場合、情報の提供をシステム管理者に依頼してください。システム管理者がそのレコードを保存している可能性があります。

アクセシビリティ機能の使用

Cisco Emergency Responder には、マウスを使用せずにウィンドウ上のボタンにアクセスできる機能が用意されています。このようなナビゲーションショートカットは、視力に問題があるか目の見えない担当者がアプリケーションを使用する際に役立ちます。

インターフェイスを操作する際のガイドとして [表 1-3](#) を使用するには、キーボードショートカットを使用します。

表 1-3 Cisco Emergency Responder のナビゲーション ショートカット

| キー入力 | アクション |
|-------------|--|
| Alt | フォーカスをブラウザのメニュー バーに移動します。 |
| Enter | フォーカスがあるアイテム（メニュー オプション、ボタンなど）を選択します。 |
| Alt、矢印キー | ブラウザ メニュー間を移動します。 |
| スペースバー | チェックボックスのオンとオフなど、コントロールを切り替えます。 |
| Tab | タブ順の次のアイテムまたは次のコントロール グループにフォーカスを移動します。 |
| Shift + Tab | タブ順の前のアイテムまたはグループにフォーカスを移動します。 |
| 矢印キー | グループ内のコントロール間を移動します。 |
| Home | 複数画面にわたる情報がある場合、ウィンドウの一番上に移動します。また、ユーザが入力したテキストの先頭に移動します。 |
| End | ユーザが入力したテキストの行末に移動します。 複数画面にわたる情報がある場合、ウィンドウの一番下に移動します。 |
| Page Up | 1 つの画面を上スクロールします。 |
| Page Down | 1 つの画面を下スクロールします。 |



APPENDIX **A**

Cisco Emergency Responder の User Web インターフェイス

ここでは、Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) User Web インターフェイスのページ上にあるフィールドについて説明します。

- 「[コール履歴](#)」 (P.A-1)
- 「[Emergency Call Alert](#)」 (P.A-4)
- 「[Locate Phone by Extension](#)」 (P.A-5)

コール履歴

[Call History] を選択すると、[Call History] ページが表示されます。

許可の要件

このページにアクセスするには、ユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。

説明

[Call History] ページを使用して、このネットワークから発信された緊急コールの履歴を表示します。Emergency Responder には、過去 10,000 件のコール履歴レコードが維持されます。これらのコールを発信した時間について制限はありません。

表 A-1 では、[Call History] ページについて説明します。

表 A-1 [Call History] ページ

| フィールド | 説明 |
|-----------------|--|
| Search criteria | <p>表示する緊急コールを選択する検索条件を入力できます。</p> <p>すべての緊急コールを表示するには、条件を入力せずに [Find] をクリックします。</p> <p>検索を絞り込むには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検索するフィールドを選択し、検索の関係を選択し、検索文字列を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 複数のフィールドの組み合わせを検索するには、次の操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> – 検索フィールドを追加するには、[More] をクリックします。 – いずれかの検索条件に一致するコールを選択すること（OR 検索）を示すには、リストの上部にある [Any] を選択します。 – すべての検索条件に一致するコールのみを選択すること（AND 検索）を示すには、[ALL] を選択します。 – 一番下の検索条件を削除するには、[Fewer] をクリックします。[Fewer] は、[More] をクリックした後にのみ表示されます。 2. ドロップダウンリストから、個々の検索で表示する各ページのレコード数を選択します。 3. すべての検索条件を入力したら、[Find] をクリックします。 |

表 A-1 [Call History] ページ (続き)

| フィールド | 説明 |
|--------------|--|
| Call records | <p>検索条件に一致する緊急コールのリストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ERL Name : 名前をクリックすると、Emergency Response Location (ERL) に関する詳細情報が表示されます。 • Caller's Extension : 緊急コールの発信に使用された内線番号。 • Time : 緊急コールが発信される時刻。 • Date : コールが発信される日付。 • ELIN Used : コールに使用されるルート パターンと ELIN の組み合わせ。 • Location : 電話の場所。電話が手動で設定されるか、スイッチ ポートまたは IP サブネットに基づいて設定されるかによって変わります。 • Call Acknowledged : [Web Alert] ページ上のコールの確認応答ステータス。 • Acknowledged By : コールを確認応答したユーザの ID。 • Time Acknowledged : コールが確認応答される時刻。 • Date Acknowledged : コールが確認応答される日付。 • Comments : コールについて入力されたすべてのコメント。[Edit] をクリックして、[Call Details] ページでコールに関するコメントを入力または変更します。多数のコールが検索条件に一致する場合、Emergency Responder では表示に複数ページが使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> – ページを切り替えるには、[First]、[Previous]、[Next]、[Last] をクリックします。 – 特定のページに移動するには、[Page] フィールドにそのページ番号を入力し、Enter を押します。 |
| Update | <p>コールのコール履歴にコメントを含めるには、[Update] をクリックします。</p> <p>(注) [Call Details] ページからのみ表示できます。</p> |
| Reset | <p>保存されていないコメントを削除するには、[Reset] をクリックします。それからコメントを再入力できます。</p> <p>(注) [Call Details] ページからのみ表示できます。</p> |
| Close | <p>[Close] をクリックして [Call Details] を閉じます。</p> <p>(注) [Call Details] ページからのみ表示できます。</p> |

関連項目

- 「緊急コール時に発生する状況の概要」 (P.1-3)
- 「緊急コールに関する詳細情報の取得」 (P.1-5)
- 「緊急コールの履歴の表示」 (P.1-9)

Emergency Call Alert

[Web Alert] を選択すると、[Emergency Call Alert] ページが表示されます。

許可の要件

このページにアクセスするには、ユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。

**(注)**

Web 警告をモニタするマシンに JRE がインストールされている必要があります。

説明

[Emergency Call Alert] ページを使用して、緊急コールのリストを表示します。リストには、各緊急コールに関する次の情報が表示されます。

- Call Time
- Line ID
- ERL
- ELIN Used
- Location
- Street
- Phone Location

関連項目

- 「緊急コール時に発生する状況の概要」 (P.1-3)
- 「緊急コールの確認応答」 (P.1-4)

Locate Phone by Extension

[Phone Search] を選択すると、[Locate Phone by Extension] ページが表示されます。

許可の要件

このページにアクセスするには、ユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。

説明

[Locate Phone by Extension] ページを使用して、内線番号を使用して電話を検索します。検索で一致が見つかり、結果が表示されます。結果には、電話に設定されているすべての情報が表示されます。

表 A-2 では、[Locate Phone by Extension] ページについて説明します。

表 A-2 [Locate Phone by Extension] ページ

| フィールド | 説明 |
|-----------------|------------------------------|
| Phone extension | 場所を特定する電話の内線番号を入力するテキストボックス。 |
| [Find] ボタン | 電話検索を開始します。 |

関連項目

- 「緊急コール時に発生する状況の概要」 (P.1-3)
- 「緊急コールに関する詳細情報の取得」 (P.1-5)

■ Locate Phone by Extension



INDEX

A

Acknowledged By [1-11, A-3](#)

C

Call Acknowledged [A-3](#)

[Caller's Extension] フィールド、[Call History] ページ [1-10](#)

[Call History] ページ [A-1](#)

検索条件 [A-2](#)

コール履歴 [A-3](#)

Cisco Emergency Responder

User Web インターフェイス [A-1](#)

インターフェイスへのアクセス方法 [1-2](#)

機能 [1-3](#)

ログイン [1-2](#)

Cisco Emergency Responder へのログイン [1-2](#)

[Class of Service] フィールド [1-6](#)

[Comments] フィールド [1-7](#)

[Comments] フィールド、[Call History] ページ [1-11](#)

[Community Name] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Company ID] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[County ID] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[Customer Code] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[Customer Name] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

D

Date Acknowledged [1-11, A-3](#)

[Date] フィールド、[Call History] ページ [1-10](#)

E

[Elevation] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

ELIN Used [A-3](#)

[ELIN Used] フィールド、[Call History] ページ [1-10](#)

[Emergency Call Alert] ページ [1-6, 1-7, A-4](#)

ERL Name [A-3](#)

[ERL Name] フィールド、[Call History] ページ [1-10](#)

[Exchange] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Extract Date] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

H

[House Number Suffix] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[House Number] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

L

[Latitude] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[Locate Phone by Extension] ページ [A-5](#)
Location [A-3](#)

[Location] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[Longitude] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

M

[Main NPA] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Main Telephone Number] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

O

[Order Number] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

P

[Phone Extension] フィールド、[Locate Phone by Extension] ページ [A-5](#)

[Post Directional] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Prefix Directional] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

S

[State] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Street Name] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

[Street Suffix] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

T

[TAR Code] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

Time Acknowledged [1-11](#), [A-3](#)

[Time] フィールド、[Call History] ページ [1-10](#)

[Type of Service] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-6](#)

Z

[Zip Code Extension] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

[Zip Code] フィールド、[Emergency Call Alert] ページ [1-7](#)

あ

アクセシビリティ機能 [1-11](#)

き

緊急コール

確認応答方法 [1-4](#)

コール履歴の表示方法 [1-9](#)

場所の詳細情報を取得する方法 [1-5](#)

緊急コールの確認応答 [1-4](#)

緊急コール発信者の場所の検索 [1-5](#)

緊急コール履歴 [1-9](#)

こ

コール履歴、表示 [1-9](#)

コール レコード、[Call History] ページ [A-3](#)

て

電話検索 [1-5](#)

な

内線番号に基づく検索 [1-5](#)

は

発信者の内線番号 [A-3](#)

